

# 「000」様

1956年昭和31年〇月〇日午後1:00~2:59 生れと推測

月入り4日 月入り後3日 八白土星 申年 今年54歳

## 【 四柱推命・命式分析表 】 支配・ワンマン型

<b>1. 年 柱【初年期】</b> 【天干・丙火】食神星-1	【地支・申金】	【蔵干・戊土】偏財星-1
【十二運星・絶 <sup>ぜつ</sup> 】 健康面で恵まれず、怪我に注意、片親と縁が薄い。自立は上手いかない。		
【吉凶神殺星: 月徳貴人】		
<b>2. 月柱【中年期】</b> 【天干・庚金】偏官星-1	【地支・寅木】+3 空亡 <sup>くうぼう</sup>	【蔵干・戊土】元命: 偏財星-1
【十二運星・建禄】兄弟は円満、中年期から発展するが、建禄の時非常に気持ちが大きくなりよくない		
【吉凶神殺星: 馱馬 <sup>えきば</sup> ・馱馬 <sup>けつじん</sup> ・血刃 <sup>ちゆうきやく</sup> ・弔客 <sup>てんこく</sup> /天哭】		
<b>3. 日 柱【自分自身】</b> 【天干・甲木】月令を得る	【地支・辰土】	【蔵干・乙木】配偶者: 劫財星+1
【十二運星・衰】安定した家庭の奥さんになるが、配偶者運の人は強情な人が多く良縁がない。浮沈が激しい。悪い星があれば発展せず、マイナスの変化が多くなる。		
【吉凶神殺星: 天官貴人 <sup>てんおつ</sup> ・福星貴人 <sup>ふくせい</sup> ・金与禄 <sup>こんよろく</sup> ・白虎 <sup>びやくこ</sup> ・拾悪大敗 <sup>じゅうあくたいはい</sup> 】		
<b>4. 時 柱【晩年】</b> 【天干・辛金】正官星-1	【地支・未土】	【蔵干・丁火】傷官星-1
【十二運星・墓 <sup>ぼ</sup> 】 健康に恵まれず苦勞、本人が健康なら子供縁薄い。子供が病弱。		
【吉凶神殺星: 天乙貴人 <sup>てんおつ</sup> ・月徳合】		
空亡（天中殺） 寅／卯／辰も		身弱-2点（やや弱い自我）

**命式表の読み方**

- 年柱は生まれて親から独立まで。 ■ 色文字は幸運。
- 月柱は自分の性格・独立後~60歳までの期間。 ■ 色文字は不運。
- 日柱は自分の内面・配偶者運。時柱は60歳以後。 ■ 色文字は吉凶両面。

### 【命式表の主な凶星や吉凶神殺星の意味・・・日柱にある吉凶・神殺星は生涯作用します。】

月徳貴人=凶があっても災厄が軽くすみ、良い夫に恵まれる	[月柱空亡]=夫婦縁が悪くなり、兄弟友達縁薄くなる
馱馬=住居の移転や移動・転職が多い暗示	血刃=血液中に遺伝性の持つ病気をもち、手術等で血を見る
弔客/天哭=肉親に不幸の暗示	福星貴人=目上に引き立てられ、金銭、物質に恵まれる
天官貴人=ことがうまく運び、望みが叶う	金与禄=配偶者からの金品の援助
拾悪大敗=金銭に恵まれず災難にあい、好運が長続きしない	天乙貴人=危ないことがあっても救われ加護される
白虎=交通事故や水難などの事故にあう暗示、血液中に遺伝性の病気を持つ傾向	月徳合=苦境の時に救われる

# 基本的運勢

## I. 【 納音(なっちゃん)宿命 】 覆燈火(フクトウカ) → 甲/辰 衰

- ☆ 物事に対して行き過ぎが多いので注意をしないとイケない。女性は妻の座を守り、家庭にはいり女性の義務を戒めているのがこの覆燈火。物事を八分の利で進めればよく、運気は盛んなので人生は無理をしないで徐々に発展させるという考えで渡るとよい。無理をすれば必ず失敗するので気をつける。女性の驕り高ぶりや節制を戒めている。

## II. 【 持って生まれた性格 】

- ☆ 陽気で社交的で、誰とでも仲良くできる性格、話題も豊富な為人に慕われるが、金払いが良いタイプだけに交際費がかさむ傾向、収入が良くても支出が多くなりがち。ファッションナブルなものが好きで、髪型のスタイルに気を使う傾向がある。
- ☆ 権力志向が強い野心家タイプ、比較的苦労せずに何事もスムーズに運ぶが、傲慢になり、いい気になって傍若無人な振る舞いをすると失敗する。物事を筋道立てて深く思索するのは苦手。
- ☆ 月令を得ている(大木がしっかり大地に根を張る状態)ので自身の心に勢いがある。しかし、**気の迷いがあるタイプ**で、時が経つと同じ事でも言うことが変わったり、**ぶれる**こともある為、生き方は人を頼ってしまいがち。思い通りにならないことが多く、愚痴が多い傾向。

## III. 【 仕事・金銭運 】

- ☆ 行動的な性格で、商売・金銭を扱う仕事に向き、サービス精神も旺盛なのでサービス業、水商売、小売業、金融関係、不動産業、流通関係等の営業面に合う。
- ☆ 野心家で、発展の暗示があるが、他柱に正官星があり、転業や転職を繰り返しやすく苦労する。
- ☆ 一時的に財を得ても、浪費が多い傾向なので、すぐに失くしてしまい、経済観念を養い、堅実さを忘れずに蓄財することを心がける必要がある。

## IV. 【 恋愛・結婚運 】

- ☆ 52才からの10年間は、恋愛運は人生最盛運気であり、良い出会いに恵まれやすいが、交際は長く継続することは困難な時期、60代も恋愛のチャンスがあります。
- ☆ 内面の悪い配偶者に縁があり、陽気な「○○」様とはソリが合わず、家庭生活には多くのトラブルがつきまとう。結婚後の生活スタイルは、**支配・ワンマンタイプ**で、夫を厳しい目で見る傾向があり、注文や要求が増加する傾向、不平不満の多い結婚生活になりやすい。

## V. 【 健康運 】

- ☆ かかりやすい疾病は、視覚機能障害、肝機能関係に注意が必要。**各種炎症**、不眠症、肝炎・肝不全等、**木と土に傾斜しているため内臓癌にも注意** ☞ 作用は弱

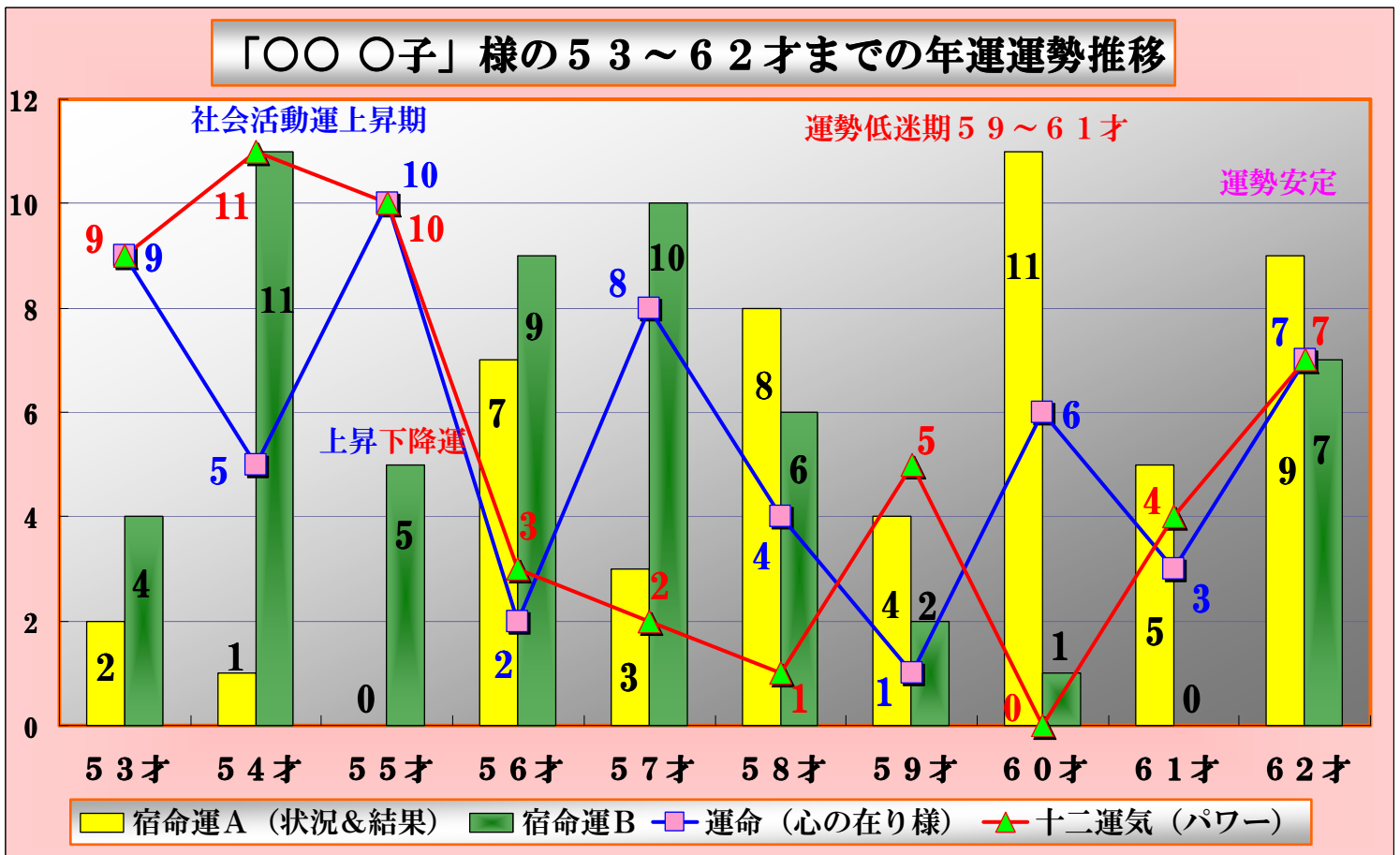
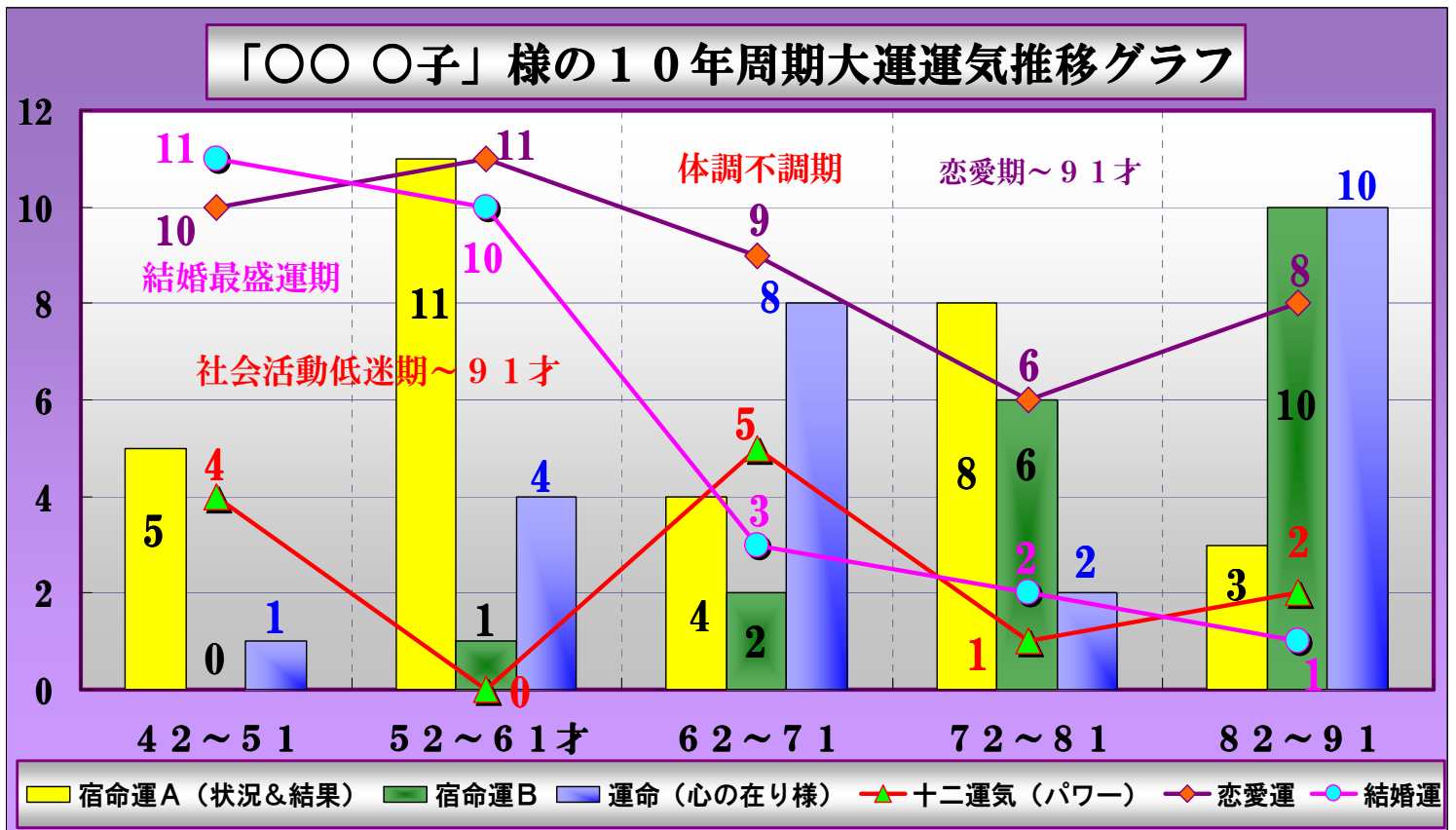
## VI. 【 大運(魂の底辺を流れる強い自我) 】 “健康と精神状態”がどうなるかを判断します。

52~61才

目標の達成に向けてじっと我慢して、やり抜く粘り強さを発揮する時期。条件が厳しくなるほど、自分の意思をつらぬき通そうとする強烈なパワーが湧き、仕事や生活において、しっかり根をおろすことのできる時期。**パワーは絶(0)**の為運気は衰退傾向、社会活動などの、続けていることを止めてしまうこともある時。両親や兄妹・目上との人間関係は**やや吉**。恋愛運上昇中、結婚運は強すぎて弊害がでやすい時。

※ 棒グラフの見方 → 宿命運AとBが不定期に入れ替わるタイプ。

気の迷いがある人は、宿命運AとBにわけて、棒グラフで表します。気持ちが不定期に変わりやすい。



## Ⅶ.【年運】“他人や外部”からの作用を判断します。

54才 寅木	喧嘩口論が起きやすく、努力が思ったほど報われない傾向。異性問題が発生しやすく、再婚の可能性もある時だが、スキャンダルに巻き込まれることもあるので慎重さが必要。 <b>過労からの病気に注意の時</b> 。協調性・和合・八方美人・色情の時期。
55才 卯木	仕事運は上昇、周囲からの援助や協力に恵まれ、目上の助けが得られる時だが、金銭面は潤うが、支出も多くなりがち。悩みや取り越し苦勞が多くなり、気持が乱れがち、体力は減退する。 <small>りくがい</small> <b>六害:卯=常に争いが起こりやすい運命。</b>
56才 辰土	迷いや焦りが起きやすく、今までのことを変化させたくなり、新しいことにチャレンジしたくなる時。苦勞や困難に遭遇しやすい時期。 <b>人の出会いに恵まれ、人の世話をすることが多くなる時。エネルギーは絶(0)、全体的に運勢は低迷。</b>

\*\*\*\*\* ○○様のご依頼の趣旨 \*\*\*\*\*

『48歳に離婚、子供が成長したあとの老後はどうなるか心配』自分の今後の運勢を知りたい。

## 【所見】

42才～51才の結婚運は「建禄」の時期、本来は、結婚生活は楽しく、家庭面も安定する時期ですが、「○○」様の「宿命」の指し示す通り、非常に気持が大きくなり、傍若無人の振る舞いがあったと思われます。ついいい気になり過ぎて自分を守る気持ちが優先し、(離婚)に至り、人生で最大の失敗だったと思われます。今年から結婚したい気持ちが湧いていると思われます。配偶者運の人(好みの人)であれば良縁は無いですが、今後も異性との出会いのチャンスは度々恵まれる時期にあり、56才に出会いのチャンスに恵まれ、再婚も選択肢の一つの時期でしょう。失敗の原因を肝に銘じて、我を抑制し、相手の男性には、謙虚に従う態度が幸せをつかむことができるコツになります。

62才以降、両親(父親)が他界された後は、**生きていくのに頼る人が必要に思われます**。子供との関係は頼りになる時と、子供自身の運勢が不安定になることもありがちなので同居するのが良いでしょう。母親/兄弟との縁は気持が乱れ、疲れきってしまう関係。晩年を一人で生きる事は不安定な暮らしがストレスになり、病気を誘引しやすくなり、苦勞が付きまとうと思われます。「○○」様が良い晩年を生きる術は暮らす相手に恵まれること、**【家庭生活に在り、再婚が理想】**「○○」様の最も良い生き方は、いつも家族を持ち、一緒に暮らすことで、ご自分の運命を変え、開運していくことができます。